

# 山麓探偵団通信

7月号

探偵団の事務局になって以来十  
四年間、天気予報がいたく気にな  
る生活になりました。ところが、  
天気予報はたいして当てにならな  
いという結論に至ります。が・・・  
それでもまずは気になって見てし  
まうのは、いったいなんなのだし  
ようねえ？ 予報を裏切る確認の  
ような気が、しないでもない昨今  
です。

今回も、予報は雷雨でしたが、  
一滴の雨もなかった快適な一昼夜  
で、六名それぞれが真新しい顔を  
ひっさげて、無事に帰着しました。

### ◇戸高雅史団長の感想

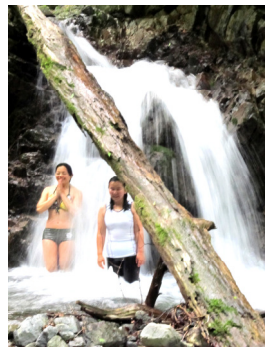
今回の五名は、参加者という域  
を越えて、ひとりひとりがテーマ  
をもって集う仲間であったのが、  
まずはすばらしかった。意識とは  
別に反応する身体を知るのは、測  
り知れない価値であると思うし、  
それを言葉で伝えるのは困難なの  
だが、水のひびきとともに、その  
共振があったように思える。

### ◇参加者の感想

**K**・山中湖から徒歩で行ける別世  
界で、新しい発見がいくつもあつ  
た。川のせせらぎ、焚き火のにお

い、そして三年越しの願いがかな  
った魚(釣果)。どれをとつても、  
一年間楽しみにしていた以上に満  
喫できた一日だった。

**T**・釣れたばかりの六匹のヤマメ  
を即興で調理する至福。そして、  
原点を気づかせてくれた沢。いま  
まで、ベストの二日間だった。



**S**・自分の体力が、はたしてどこ  
までいけるか、今回はスローペー  
スで歩き始めた。しかし結果とし  
て、自然の中で、身体が気もちよ  
くいければ、それが受け止められ  
るという実感が得られた。  
自分の体力を自然に任せること  
で、足がすすむ。また、木に登つ  
てよかった。

**M**・滝や沢に分け入り、そこで解  
き放たれた身体の軽さを実感して  
いる。自然の中になると、無心にな  
れて、今という瞬間を味わえた。



**J**・今回は、沢での一泊が、より  
一層の深みに感じられた。起床時  
の一時間の瞑想、また、沢の音が  
森に入った時点で、はっと消える  
瞬間もよかった。滝の音にしても  
いくつかの音が混じりあうハーモ  
ニーとして聞き分けられて、それ  
も発見だったと思う。  
また、たった今、鹿が通ったと

### ◇七月の探偵団活動ご案内

#### 昆虫シリーズ第六回

今夏も埼玉大学教授の林正美先  
生にご指導いただき、富士吉田市  
にある明見湖(あすみこ) 別名ハ  
ス池をめぐりながら、昆虫や水中  
生物の暮らしを、いっしょのぞき  
にいきましょう。

- ・日時 七月二十日(土)
- ・集合 11時 「あみん」に9時半集合
- ・参加費 1800円
- ・小学生は1000円
- ・持ち物 昼食・雨具・敷物・マ  
イカップ。 双眼鏡・虫  
かご、虫網などは任意

○申し込み・問い合わせは三日前  
までに、電話かメールでお願いし  
ます。

◎なお、八月の探偵団はお休みです。

発行 山麓探偵団 事務局  
山梨県山中湖村平野一六九八  
電話 〇五五五・六五・七〇二三